

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	相模原公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネグループ
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

< 1 管理運営等の状況 >
 芝生の刈込等を基準値以上行い、常に利用者が安心して過ごせる空間づくりに努めていた。倒木や枝折れなどについても率先して処理し、利用者の安全を考慮していた。芝生広場では外来種の繁茂が確認されたため、職員一丸となって駆除に努力していたことからA判定とした。

< 2 収支状況 >
 収支状況は、収支差額が+-10%未満の範囲から、概ね計画通り実施されていたのでB判定とした。

< 3 利用状況 >
 下期のイベントとして新たに「緑の街」の利用促進を意識して計画されたみどりの街のてしごと展は目的に合ったイベントだったが、天候が悪く予定を下回る集客となった。また2月の大雪ではグリーンハウスの企画展の時期だったため、こちらも集客数が伸びなかったが、新たな企画立案に対する姿勢からA判定とした。

< 4 利用者の満足度 >
 アンケートの調査結果より99%の回答者が良い・とても良いと回答しており、また、簡易アンケートの結果でも、良いという回答から、A判定とした。

< 5 苦情・要望等 >
 園内での猫の餌やりについての苦情があったが、ポスター掲示のほか、職員・警備員の地道な指導等があり努力がうかがえるためB判定とした

< 6 事故・不祥事等 >
 事故当事者本人の不注意による軽微な事故が発生したが、指定管理者の適切かつ丁寧な対応を行ったため、B判定とした。

< 今後の方針等 >
 相模原公園の色々な特色ある区域を公園利用者に利用してもらうために、色々な企画を立案し実施しており、努力がうかがえた。今までほとんど限られた利用者だけであったが、そのエリアの魅力を伝えられるような企画となっており、継続に期待するとともに、自然環境や外来種の駆除等環境についての普及啓発にも期待したい。

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	花と緑と文化が薫る魅力的な公園づくりとして、園内各ゾーンにおいて特色ある花修景を行い、利用者に満足いただける管理を目指します。	グループ企業体のメリットを活かし、オリジナル品種の大規模的な植栽を行い、フランス式庭園の魅力を楽しめる花修景を作り出していた。 また、グリーンハウスでは、トルコギキョウを筆頭にサカタの開発品種の特別展を行い、利用者が楽しめる展示を実施した。 ウエルカムガーデンとして立体花壇を設置していたが、ベンチを設置し、利用者が記念撮影の場所としても利用できるような工夫していた。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	花と緑と人にふれあう快適な生活空間の提供として自然や花、文化等を満喫していただけるふれあいの空間を創出し提供します。	芝生地についての維持管理として、小さなお子様も安全に遊べるように芝生の刈込は基準より多く行った。 相模原公園管理事務所まわりには、ペットボトルを使ってスタンド式のプランターを製作、利用者にも作り方のチラシ等を配布した。出来上がったプランターには球根ベコニアを植栽し、ハンギングバスケットとともに華やかな景観を作り出すことができた。 過密植栽となっていた樹木について、景観や樹木の生育等の維持と安全を確保するための剪定や伐採を行った。
3 (指定管理業務)	ボランティア団体との協働により、県民参加型の誰からも愛される公園づくりを目指します。	引き続き蝶類調査ボランティアによる調査を実施しており、今年度報告展示した調査結果をもとに、相模原公園の環境についてまとめていく。また、自然環境を多角的に調査するために、鳥類の調査についてもボランティアの協力を仰ぎ実施している。こちらもグリーンハウスの展示スペースを使い26年度には展示報告する。 また、子どもたちへの自然への興味を持ってもらう取り組みとして、家族で巣箱を作り、園内と家の周りに巣箱をかける取り組みを行った。
4 (指定管理業務)	花と緑と自然のふれあいの場づくりとして、園内の花修景づくりと共に、公園内の豊かな自然を身近に感じられる機会の提供を行います。	園内ガイド及びグリーンハウス館内ガイドツアーを行い、それぞれの季節を感じられる動植物と相模原公園の楽しみ方や植物の楽しみ方などを交えた解説で、利用者を楽しんでもらう機会となった。定着した両ガイドツアーは今後も実施予定。 公園ナビステーションでのみどりの相談や、植物展示なども定着し、公園内の自然を身近に感じてもらえ、リピーターも多くなった。
5 (指定管理業務)	地域に愛され、地域振興に貢献できる公園として関係機関との連携や協働をより強化し、信頼関係を深め、地域に貢献できる公園づくりに取り組みます。	就労支援施設との協働により、実習生を受け入れ、同施設にははじめての野外作業実習場所として提供した。実習生の活動範囲が広がり、公園側は安定した維持管理をするための一部を担ってもらう中で信頼関係を築くことができた。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月20日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月20日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月29日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月20日	○	○	○	無	
2月	3月10日	3月14日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月23日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		230,385	5,422	9,220	245,027	245,027		0
年度計画	前年度	221,377	5,800	9,800	236,977	236,977	0	0
	上半期	114,386	3,320	4,900	122,606	122,606		0
	下半期	106,991	2,480	4,900	114,371	114,371		0
	今年度	221,184	5,900	9,900	236,984	236,984	0	0
	上半期	113,964	3,400	4,950	122,314	122,314		0
	下半期	107,220	2,500	4,950	114,670	114,670		0
通年実績	上半期合計	113,964	1,809	4,506	120,279	115,940		4,339
	対収支計画比	0.0%	▲ 46.8%	▲ 9.0%	① ▲ 1.7%	② ▲ 5.2%	③	3.5%
	10月	18,473	230	832	19,535	16,853		2,682
	11月	18,396	270	988	19,654	20,661		▲ 1,007
	12月	21,961	152	498	22,611	19,901		2,710
	1月	15,117	117	547	15,781	15,982		▲ 201
	2月	14,272	73	235	14,580	15,176		▲ 596
	3月	19,001	295	949	20,245	24,482		▲ 4,237
	下半期合計	107,220	1,137	4,049	112,406	113,055	0	▲ 649
	対収支計画比	0.0%	▲ 54.5%	▲ 18.2%	① ▲ 2.0%	② ▲ 1.4%	③	▲ 0.6%
通年合計	221,184	2,946	8,555	232,685	228,995	0	3,690	
対収支計画比	0.0%	▲ 50.1%	▲ 13.6%	① ▲ 1.8%	② ▲ 3.4%	③	1.6%	
参考	前年度 下半期実績合計	106,991	1,420	4,526	112,937	113,191		▲ 254
	対前年度 下半期実績比				▲ 0.5%	-0.1%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	上半期に行う予定だった点検業務が下半期にずれ込み支出の時期も遅れたための差異。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300,000円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	1,551	井戸修繕 319、トイレ自動ドア修繕 449、トイレ修繕 783
下半期	1,503	アトリウム雨水管漏水工 558、パーティション工 945
合計	3,054	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 B

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	60,134 人	98,568 人	61.0 %
11月	68,513 人	55,683 人	123.0 %
12月	44,024 人	36,662 人	120.1 %
1月	52,137 人	52,264 人	99.8 %
2月	28,062 人	45,765 人	61.3 %
3月	52,014 人	60,363 人	86.2 %
合計	304,884 人	349,305 人	87.3 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	304,884 人	349,305 人	320,000 人	① 95.3 %	② 87.3 %
上半期計	391,205 人	395,618 人	298,000 人	① 131.3 %	② 98.9 %
合計	696,089 人	744,923 人	618,000 人	① 112.7 %	② 93.5 %

※目標値の設定の有無

期間
基準
リストから選択
リストから選択
リストから選択
その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	×	○	10月の大きなイベント開催日が悪天候だったため、10月の公園利用者が前年度より大幅に減少したこと、2月の大雪は今までにない降雪量を記録し、利用者を大幅に減らしたが、上半期の利用者はほぼ前年度と同じ利用があったため、通年の利用者は目標者数を上回った。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	○	10月のオータムフラワーフェスティバルが悪天候での開催となったこと、2月の大雪による利用者の減少が大きく起因している。前年度はイベント開催時に天候に恵まれたことで今回の結果となった。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	研修室	グリーンハウス	駐車場				合計
定員(1日あたりの延べ人数)	200	2,100	850				3,150
年間利用可能日数	180	300	365				
最大人数	36,000	630,000	310,250	0	0	0	976,250
半期	18,000	315,000	155,125	0	0	0	488,125

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	42	11	0	1	1	55	53 (97.0%)
〔参考〕 上半期結果	72	19	0	0	1	92	91 (99.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 55 件

回収 55 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (0)	21 (0)
〔参考〕上半期結果	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	13 (0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	園内での猫への餌やりについて	餌やり禁止のポスター掲示と定期的な巡回及び指導を実施。また餌の散乱等は速やかに片付けることを職員に周知した。
	(簡易アンケートの件数のうち10数件が上記の内容)	
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
 B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
 C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
 : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
 D

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
11月26日	公園利用者の母が、男児を降ろし扉を閉める際運転席ドアヒンジ外側隙間部分に男児の左人差し指及び中指を挟み抜けなくなった。	母親が男児が指を出しているのに気付かず、扉を閉めてしまったため。	パニック状態になっている母親のフォローと救急隊への対応。
12月7日	上溝南高校野球部の生徒がトレーニング中にバランスを崩し転倒、引率の先生が救急車へ連絡	練習中の事故で、特に施設等に問題はなかった。	病院へ搬送までの救急車の誘導
1月4日	職員作業中の事故 ベンチの木材取替えのため材料を持ち上げたところ、腰を捻ってしまった。	冬期で体が温まっていなかったことが要因と考えられる。	十分な準備体操を行うとともに、作業前の危険予知トレーニングを徹底する。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		